

マジックハンドの自作

概要

- ・ 2013 年にダイソーの 100 均マジックハンドを長尺に改造したが、今年も朝顔の花殻取りに活躍の時期なので出してみると、何か動きが変？
- ・ 見ると、先端爪を引き寄せる部位のピン穴が割れていた。
- ・ 取りあえずの接着材で復旧したが、強く掴むことが出来ないで、強力なマジックハンドを自作した。

自作費用 1,190 円 (アクリル板&組ネジ)

完成：2015 年 7 月



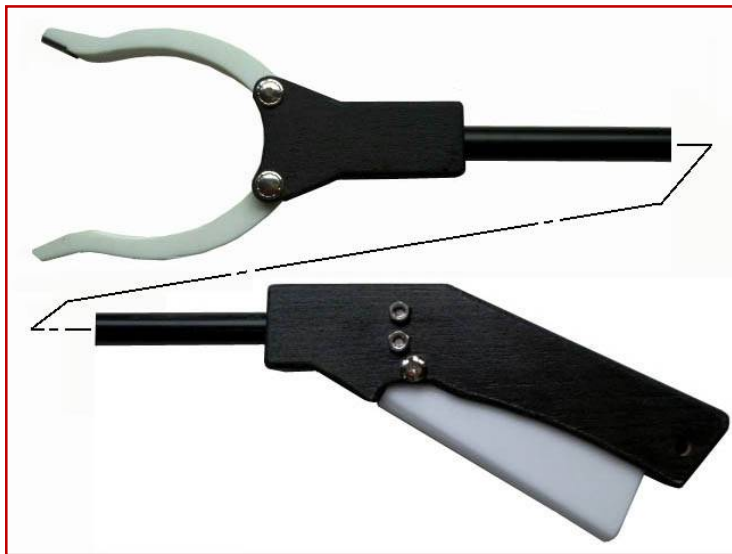
100 均マジックハンドを分解したところ

安価で優れ物のマジックハンドだが、樹脂肉厚が薄い (2 t) ので強く挟むものには向かないし、使っている内にガタが出来て先端がびったり閉まらなくなる。(調整するにはワイヤーのカシメ位置を直すなど面倒)

* トリガーのピン位置が割れ易い。

* 先端爪のピン穴も欠け易い。(バネ受けが貧弱で、先端爪に均等に力が掛らない為。(上写真の機種では、バネ受けが既に無い状態)

この二つを改善するだけで、耐久性は随分違って来るはず。



↑ 先端爪の一方にはゴム板を貼り付け、他方には溝を 5 本彫り込んで、滑りにくくしてある。
先端爪は、3 t アクリル板からコの字形に作っているのので、100 均品より強力で繊細です。



↑ 100 均から流用した物は、バネ・ワイヤー・ワイヤー引き具とリンク (パイプは前に延長交換した 1m もの)
ワイヤーの終端には、バネが傾きにくい“バネ受け”を特製したので、先端爪を均等に安定して引き寄せることが出来る。(結果、ピン穴も壊れにくい筈)

裏話

- ・ 今年も 5 月初旬に植え込んだ朝顔 (西洋 4 本、琉球 4 本) が、3 m 以上に成長し下の方から次々に花を咲かせ始めた。
- ・ 毎年ツルを 2 階ベランダ迄伸ばしてやるので、居間の縁台からではこの長尺マジックハンドがないと、花殻取りやツルの誘導が出来ません。(脚立を立てれば可能なのだが、案外危険で面倒です)
- ・ 自作とはいえ、構造上問題のない 100 均部品は流用することにして、自分の製作技量に応じて設計したので、図面検討に相当の時間を費やす結果となった。実はこれもあれこれ楽しい時間です。
- ・ 残材以外に購入したものは、“3 t アクリル板”と“組ネジ”ですが、長・短のマジックハンドが 2 式無事に完成しました。
- ・ 浅知恵をフル回転させて作り込みましたので、先端爪の閉じ具合などは 100 均品とは比べ物にならない精度で、久しぶりに大満足の一品です。
- ・ 壊れたら 100 均で簡単に買い替えられる代物とはいえ、自作品の愛着に敵うものはないと自賛しています。